

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社水越プラスチック西尾新工場	階数	地上1階
建設地	西尾市江原町中塚田14番, 15番, 16番	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	44人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2019年6月7日
敷地面積	9,377 m ²	作成者	服部 隆
建築面積	2,247 m ²	確認日	2019年6月12日
延床面積	2,234 m ²	確認者	服部 隆



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 93%
 ③上記+②以外の: 93%
 ④上記+: 93%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.2

③敷地内の緑化

3.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) **38.4%**
 建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積) **0.0%**

②資源の有効活用

3.3

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>
なし
 <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$
 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体				
Q 建築物の環境品質														3.0			
Q1 室内環境														-			
1 音環境														-			
1.1 室内騒音レベル														-			
1.2 遮音														-			
1 開口部遮音性能														-			
2 界壁遮音性能														-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-			
1.3 吸音														-			
2 温熱環境														-			
2.1 室温制御														-			
1 室温														-			
2 外皮性能														-			
3 ソーン別制御性														-			
2.2 湿度制御														-			
2.3 空調方式														-			
3 光・視環境														-			
3.1 昼光利用														-			
1 昼光率														-			
2 方位別開口														-			
3 昼光利用設備														-			
3.2 グレア対策														-			
1 昼光制御														-			
3.3 照度														-			
3.4 照明制御														-			
4 空気質環境														-			
4.1 発生源対策														-			
1 化学汚染物質														-			
4.2 換気														-			
1 換気量														-			
2 自然換気性能														-			
3 取り入れ外気への配慮														-			
4.3 運用管理														-			
1 CO ₂ の監視														-			
2 喫煙の制御														-			
Q2 サービス性能														0.43			
1 機能性														-			
1.1 機能性・使いやすさ														-			
1 広さ・収納性														-			
2 高度情報通信設備対応														-			
3 バリアフリー計画														-			
1.2 心理性・快適性														-			
1 広さ感・景観 (天井高)														-			
2 リフレッシュスペース														-			
3 内装計画														-			
1.3 維持管理														-			
1 維持管理に配慮した設計														-			
2 維持管理用機能の確保														-			
2 耐用性・信頼性														2.9			
2.1 耐震・免震・制震・制振														0.52			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														0.48			
2 免震・制震・制振性能														3.0			
2.2 部品・部材の耐用年数														0.20			
1 躯体材料の耐用年数														3.3			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														3.0			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														3.0			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														3.0			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														3.0			
6 主要設備機器の更新必要間隔														3.0			
2.4 信頼性														0.23			
1 空調・換気設備														2.0			
2 給排水・衛生設備														2.0			
3 電気設備														1.0			
4 機械・配管支持方法														3.0			
5 通信・情報設備														1.0			
② ガルバリウム鋼板(21年以上~30年未満) 石膏ボード(30年)														0.19			

3 対応性・更新性				4.1	0.48					4.1	
3.1 空間のゆとり		②	階高3.9m以上 壁長さ比率0.1未満 大型機械設備設置のため余裕を見ている	4.6	0.31						
1 階高のゆとり				5.0	0.60						
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40						
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.31						
3.3 設備の更新性				3.0	0.38						
1 空調配管の更新性				3.0	0.17						
2 給排水管の更新性		3.0	0.17								
3 電気配線の更新性		3.0	0.11								
4 通信配線の更新性		3.0	0.11								
5 設備機器の更新性		3.0	0.22								
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22								
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57					2.7	
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30					3.0	
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40					3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30					2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50						
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50						
LR 建築物の環境負荷低減性										3.0	
LR1 エネルギー				-	0.40					2.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.28					3.0	
2 自然エネルギー利用				2.7	0.43					2.7	
3 設備システムの高効率化				2.5	0.29					2.5	
4 効率的運用				2.5	1.00						
集合住宅以外の評価				3.0	0.50						
4.1 モニタリング				2.0	0.50						
4.2 運用管理体制				-	-						
集合住宅の評価				-	-						
4.1 モニタリング				-	-						
4.2 運用管理体制				-	-						
LR2 資源・マテリアル				-	0.30					3.4	
1 水資源保護				3.4	0.15					3.4	
1.1 節水				4.0	0.40						
自動水栓および節水型便器を採用				3.0	0.60						
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.67						
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.33						
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.1	0.63					3.1	
2 非再生性資源の使用量削減				2.0	0.07						
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.25						
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.21						
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		4.0	0.21						
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		-	-						
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.25						
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		4.3	0.22					4.3	
3 汚染物質含有材料の使用回避				5.0	0.32						
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.68						
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-						
1 消火剤				5.0	0.50						
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50						
3 冷媒				-	-						
LR3 敷地外環境				-	0.30					2.9	
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)と同等	3.2	0.33					3.2	
2 地域環境への配慮				2.6	0.33					2.6	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25						
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50						
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25						
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25						
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25						
3 交通負荷抑制		独自	自転車通勤職員人数分の自転車置場を設置 廃棄物等の分別を行う	5.0	0.25						
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25						
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33					3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40						
1 騒音		独自		3.0	1.00						
2 振動		独自		-	-						
3 悪臭				-	-						
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40						
1 風害の抑制				3.0	0.70						
2 砂塵の抑制				-	-						
3 日照障害の抑制				3.0	0.30						
3.3 光害の抑制				3.0	0.20						
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70						
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30						

重点項目スコアシート

(仮称)株式会社水越プラスチック西尾新工場

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10
② 資源の有効活用			3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19
③ 敷地内の緑化			3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.17
			外構緑化:38.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			1.0
			(評価ポイント)
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 株式会社水越プラ

計画上の配慮事項	
総合	既存緑地形状、面積を減らすことの無いよう計画し、外観も周囲の建物との違和感のないように計画。
Q1 室内環境	—
Q2 サービス性能	ゆとりある階高の設定、また自由度の高い平面計画等により、対応性・更新性の配慮を行っている。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に緑地帯を設けて環境配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LED照明の採用等により、エネルギー消費量削減への配慮を行っている。
LR2 資源・マテリアル	砕石敷き(基礎・地中梁下、路盤)に再生砕石(骨材)を使用する予定である。
LR3 敷地外環境	LED照明の採用等により、ライフサイクルCO2排出量低減への配慮を行っている。
その他	—